済生会横浜市東部病院 薬剤部 管理責任者 菅野 浩 医薬品情報室 担当 大幸 淳 a_daikoh@tobu.saiseikai.or.jp

ご案内:採用薬変更のお知らせ

平素より大変お世話になり、誠にありがとうございます。

さて、2025年10月に開催された薬事委員会の結果を共有いたします。記載しました「マスタ変更日」をもちまして、以下の薬剤が当院で採用区分を変更いたします。恐れ入りますが、関係各所にご周知くださいますよう宜しくお願い申し上げます。 何かご不明な点がございましたら、当院まで連絡をお願い致します。

記

μυ									
名称	規格	製薬企業*	旧区分	新区分	マスタ変更日	YJ コード			
タリージェ錠	2.5mg/錠	第一三共	短期試用	正式採用	2025/11/4	1190026F1028			
	5mg/錠	第一三共	短期試用	正式採用	2025/11/4	1190026F2024			
クービビック錠	25mg/錠	塩野義	短期試用	正式採用	2025/11/4	1190033F1028			
ポビドンヨードゲル 10% 「ケンエー」 ^{#1, #2}	90g/本	健栄	未採用	正式採用	2025/11/4	2612701Q2168			
ポビドンヨードゲル 10% 「VTRS」#1	90g/本	ヴィアトリス	正式採用	採用削除	在庫消尽次第	2612701Q2150			
ブリィビアクト錠	25mg/錠	ユーシービー	未採用	短期試用	2025/11/4	1139017F1026			
リアルダ錠	600mg/錠	持田	未採用	院外限定	2025/11/4	2399009F5020			
イノソリッド配合経腸用半固形剤#1	300g/袋	大塚製薬工場	未採用	院外限定	2025/11/4	3259121T1021			
ラコール NF 配合経腸用半固形剤#1	300g/袋	大塚製薬工場	院外限定	採用削除	2025/11/4	3259118T1020			
ガストローム顆粒 66.7%	1.5g/包	田辺三菱	正式採用	採用削除	在庫消尽次第	2329026D1031			

(参考:院内でのみ使用が想定される医薬品の採用薬の変更について)

名称	規格	製薬企業*	旧区分	新区分	マスタ変更日	YJ コード
クロルヘキシジングルコン酸塩 エタノール 1%消毒布「ハクゾウ」	4cm×4cm 2 枚/包	ハクゾウ	短期試用	正式採用	2025/11/4	***
レケンビ点滴静注	200mg/瓶	エーザイ	短期試用	正式採用	2025/11/4	1190408A1025
	500mg/瓶	エーザイ	短期試用	正式採用	2025/11/4	1190408A2021
ケサンラ点滴静注液	350mg/瓶	イーライリリー	未採用	短期試用	2025/11/4	1190409A1020
ドブタミン塩酸塩点滴静注液 「サワイ」#1	100mg/管	沢井	未採用	正式採用	2025/11/4	2119404A1182
ドブトレックス注射液#1	100mg/管	共和薬品	正式採用	採用削除	在庫消尽次第	2119404A1026
パクリタキセル注「NK」 ^{#1}	30mg/5mL/瓶	日本化薬	未採用	正式採用	2025/11/4	4240406A1040
	100mg/16.7mL/瓶	日本化薬	未採用	正式採用	2025/11/4	4240406A2046
パクリタキセル点滴静注液 「ホスピーラ」 ^{#1}	30mg/5mL/瓶	ファイザー	正式採用	採用削除	在庫消尽次第	4240406A1090
	100mg/16.7mL/瓶	ファイザー	正式採用	採用削除	在庫消尽次第	4240406A2097
オメプラゾール注射用「日医工」#1	20mg/瓶	日医工	未採用	正式採用	2025/11/4	2329403D1068
オメプラゾール注射用「NP」#1	20mg/瓶	ニプロ	正式採用	採用削除	在庫消尽次第	2329403D1041
ブリィビアクト静注	25mg/瓶	ユーシービー	未採用	短期試用	2025/11/4	1139406A1023

- #1 ✓ 製薬企業事由による発売中止/供給不安に対応いたします.
- #2 ✓ 院外処方箋においては、一般名処方にて出力されます.

(ヘパリン類似物質ローション「水性」「乳剤性」の一般名区分追加に対する当院としての見解)

当院は引き続き、採用薬である「ヒルドイド®ローション 0.3%」の名称で出力を継続いたします。

現在流通している乳剤性製品、水性製品はいずれも、準先発品は「ヒルドイド®ローション 0.3%」であるとされています。したがって、当院の院外処方箋で出力した「ヒルドイド®ローション 0.3%」の処方に対し、後発医薬品へ変更して調剤する場合は、乳剤性製品、水性製品いずれの製品に変更して調剤・交付いただいても問題ないと考えております。

以上